

【高等学校用】

令和4年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立三養基高等学校
-----	-------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>コロナ禍ではあったが講師の招請、広報活動への協力、まちづくりへの提言など地域との関わりある活動を多く実施できた。これからも同様に活動を継続していきたい。</p> <p>生徒・保護者アンケートや学校評議員等からの意見を踏まえ、これからも「選ばれる学校」となるよう、生徒とともに校内外の教育活動に工夫・改善を続けていく。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>平和な国家及び社会に有為の人材を育成するため、校訓「質実剛健」のもと、自主自律の精神の涵養をとおして、知・徳・体の調和のとれた教育を目指す。</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>① 自主自律と相互尊重の精神を備えた生徒の育成</p> <p>② 授業の工夫・改善と学習課題の精選をとおした生徒の学習の向上</p> <p>③ 保護者、地域との連携の強化</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○家庭学習の充実	○学校評価アンケートの「家庭学習の取組」の項目において、良い・ほぼ良いの回答の割合を、職員・生徒・保護者すべてで70%以上にする。 ○家庭学習(平日)2時間以上の生徒の割合を90%以上にする。	・完全下校の時間(19:20)を厳守させることで帰宅後の学習時間の確保を図る。 ・日々の記録を用いて生徒の生活リズムを把握し、面談などを通して学習習慣の定着を図る。
	○進路意識の啓発と進路希望の達成	○国公立大学合格者50名、近隣有名私立大学合格者100名を目指す。	・各学年で進路講演会を実施する。 ・進路検討会(3年3回)、教科担当者会(3年1回、2年3回、1年3回)を実施し、職員間での情報共有と改善策の検討を行う。 ・大学入試研究報告会の実施。 ・授業研究会の実施。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動の推進	○道徳教育全体計画及び人権・同和教育年間指導計画に基づいて授業や指導を行った教員90%以上 ○「人の役に立つ行動や集団の中での自分のあるべき姿を意識した行動ができた」と答える生徒80%以上	・各教科、特別活動、総合的な学習、講演会、読書、清掃活動、地域社会との関わりなど、あらゆる機会をとらえて心の教育を行う。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ誘発の原因となるSNSの利用について、学校評価アンケート生徒用設問の、自分の心身の健康や病気に対する予防や防犯の意識は高まりましたが、昨年度の93.6%を上回ることができるようにする。	・防犯講話や集会等で注意喚起し、SNSの利用の危険性を示し、いじめ誘発等の原因や加害者とならないための予防的対応を行う。
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動の推進	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上 ◎★郷土の人材を活用した講演会を年間1回は開催する。	・「さがを誇りに思う教育推進事業」を利用して講師を招聘し、講演会を実施することで、郷土の価値の再認識につなげる。 ・年間を通して定期的に「佐賀語り」を読む時間を「朝読書等の時間」に設け、総合的な探究の時間の地域課題研究と連携を図りながら佐賀の魅力について学ぶ。
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○「平均睡眠時間6時間以上」の生徒70%以上 ○感染症予防のためのマスク着用、こまめな手洗い、消毒100% ●「健康に食事は大切である」と考える生徒80%以上 ○朝食摂取率90%以上	・「保健・食育だより」の発行。 ・担任及び保健委員を中心とした委員会からHRでの声かけの実施。 ・保健室入室者への個別指導。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を毎週月曜日に設定する。 ・部活動休養日は、年間平均週2日確保する。 ・持続可能な観点から、校務分掌での業務のスリム化、効率化を図る。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり